



2024年度 後期
学生による授業改善アンケート集計結果

大学院看護学研究科修士課程

目次

1. 授業改善アンケート質問項目一覧	【講義】		3
2. 授業改善アンケート質問項目一覧	【演習】		4
3. 授業改善アンケート質問項目一覧	【実習】		5
4. 授業改善アンケート結果	【講義-全体】		6
5. 教員からのコメント一覧	【講義】		7
6. 授業改善アンケート結果	【演習-全体】		12
7. 教員からのコメント一覧	【演習】		13
8. 授業改善アンケート結果	【実習-全体】		14
9. 教員からのコメント一覧	【実習】		15

アンケート質問項目一覧【講義】 匿名式

1	教員が提示した文献・資料などは学習を進めるのに役立った。	5(強く思う)、4(思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
2	教員の説明や発問、意見交換の促し方 / ファシリテートの仕方は適切だった。	5(強く思う)、4(思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
3	課題提示の方法は適切だった。	5(強く思う)、4(思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
4	授業の内容や範囲は適切であった。	5(強く思う)、4(思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
5	授業分野に関する基本的概念や新たな知見や考え方などを深めることができた。	5(強く思う)、4(思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
6	授業に参加してさらに当該科目への興味をもち、深く学びたいと思った。	5(強く思う)、4(思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
7	授業を受ける上での重要な情報はシラバス、その他配布資料等で示されていた。	5(強く思う)、4(思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
8	授業はシラバスの趣旨と内容に沿って展開されていた。	5(強く思う)、4(思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
9	授業の進行速度は適切だった。	5(強く思う)、4(思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
10	教員の熱意が伝わってきた。	5(強く思う)、4(思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
11	教員は院生間の議論や協力、学習の促進を刺激するように関わっていた。	5(強く思う)、4(思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
12	教員は大学院生の反応や意見、質問に適切に対応した。	5(強く思う)、4(思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
13	あなたは授業に意欲的/ 主体的・積極的に取り組みましたか(自分のプレゼンテーションを含む)。	5(強く思う)、4(思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
14	あなたは他の大学院生の学習を刺激するような意見交換ができましたか。	5(強く思う)、4(思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
15	あなたは、事前学習・事後学習をして取り組みましたか。	5(強く思う)、4(思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
16	この授業に対して、どのような問題意識や期待をもっていったか、聞かせてください。	(自由記載)
17	この授業で良いと思った点があれば聞かせてください。	(自由記載)
18	この授業で改善したほうが良いと思った点について建設的な意見を聞かせてください。	(自由記載)

アンケート質問項目一覧【演習】 匿名式

1	演習で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
2	演習で使用した物品・モデル等は適切だった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
3	教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
4	技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
5	演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感じることができた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
6	実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
7	学生への指示・安全への配慮は適切だった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
8	演習時の（グループ等の）人数は適切だった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
9	演習の時間配分は適切だった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
10	教員の熱意が伝わってきた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
11	教員（ティーチングアシスタント含む）は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
13	私は事前学習をして演習に臨んだ。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
14	私は授業後に演習内容を復習した（オフィスパワーを含む）。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
15	私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行えるようになった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
16	この授業で良いと思った点があれば聞かせてください。	(自由記載)
17	この授業で改善したほうが良いと思った点について建設的な意見を聞かせてください。	(自由記載)

アンケート質問項目一覧【実習】 匿名式

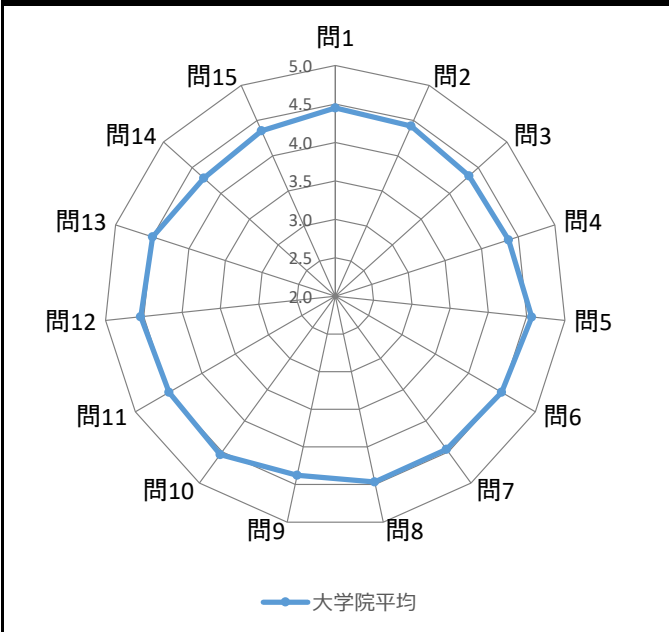
1	教員は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
2	教員は、学生の大学での学びを理解して助言していた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
3	教員の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
4	教員は、学生の考えを尊重しながら指導にあたっていた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
5	教員は、相談しやすい雰囲気があった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
6	教員と実習指導者の連携が取れていた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
7	実習指導者は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
8	実習指導者は、受け持ち患者の状況を的確にとらえ助言していた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
9	実習指導者の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
10	実習指導者は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
11	実習指導者は、相談しやすい雰囲気があった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
12	学生は、主体的・積極的に実習に取り組んだ。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
13	学生は、グループメンバー同士で学びを深めることができた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
14	学生は、実習目標に到達できるよう努力した。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
15	学生は、自ら指導・支援を求めることができた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
16	学生は、体調管理に努めた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
17	良いと思った点や改善してほしいことなどについて、具体的あるいは建設的な意見を聞かせてください。	(自由記載)

大 学 院		履修者数	402	回答率	
		回 答 数	紙	337	84%
			WEB	0	0%
					84%

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	大学院平均
1	教員が提示した文献・資料などは学習を進めるのに役立った。	183			130	17		4.45
2	教員の説明や発問、意見交換の促し方 / ファシリテートの仕方は適切だった。	177			132	23		4.42
3	課題提示の方法は適切だった。	160			139	29		4.34
4	授業の内容や範囲は適切であった。	168			131	32		4.37
5	授業分野に関する基本的概念や新たな知見や考え方などを深めることができた。	210			112	11		4.57
6	授業に参加してさらに当該科目への興味をもち、深く学びたいと思った。	201			107	24		4.50
7	授業を受ける上での重要な情報はシラバス、その他配布資料等で示されていた。	185			127	19		4.46
8	授業はシラバスの趣旨と内容に沿って展開されていた。	184			134	11		4.47
9	授業の進行速度は適切だった。	169			132	30		4.38
10	教員の熱意が伝わってきた。	208			108	17		4.54
11	教員は院生間の議論や協力、学習の促進を刺激するように関わっていた。	205			101	23		4.49
12	教員は大学院生の反応や意見、質問に適切に対応した。	205			113	15		4.54
13	あなたは授業に意欲的/主体的・積極的に取り組みましたか(自分のプレゼンテーションを含む)。	185			135	16		4.50
14	あなたは他の大学院生の学習を刺激するような意見交換ができましたか。	162			117	51		4.29
15	あなたは、事前学習・事後学習をして取り組みましたか。	164			134	34		4.36
問1～15全問平均								4.44

■大学院平均



グラフ凡例	配点	問1～15
	5	強くそう思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

＜質問別回答内訳＞
・グラフ内数字は回答数
(3%未満は非表示)

科目コード	科目名	教員名	コメント（1000文字以内）
M00102	基礎看護学特講Ⅱ	川原由佳里・細野知子	難易度の高いテキストでした。繰り返し、前回までの内容を振り返りながら、概念と論理の理解に努めました。
M00104	基礎看護学特講Ⅳ	川原由佳里・細野知子	保健医療福祉の制度の理解に努めました。個人の関心に基づき、多角的に制度の理解と課題について理解を深められたと思います。
M00202	がん看護学特講Ⅱ	守田・樋口	2024年度は、受講者は一人でしたので、院生同士の議論ができずに残念でした。授業の全体評価は高かったのですが、互いに刺激し合うように関わったかに関する自己評価が低めという結果でしたが、学習環境としてやむを得なかったかと判断しました。
M00401	成人看護学特講Ⅰ	本庄 恵子	授業改善アンケートへのご協力をいただき、ありがとうございます。みなさんが主体的に取り組み、学びが多く満足度が高かったことが伝わってまいりました。院生のみなさんのペースに合わせた授業展開や授業時間内にワークの時間をとることが効果的だったようですので、今後も続けてまいりたいと思います。どうもありがとうございました。
M00503	クリティカルケア看護学特講Ⅲ	三浦英恵	クリティカル期にある人々とその家族の衝撃的な体験とその反応について理解するために、理論を活用した事例検討やディスカッションを通じて、新しい発見や知識の獲得につながったことが授業評価から伺えました。今後もみなさんの学びが深まるように支援していきたいと思います。
M00504	クリティカルケア看護学特講Ⅳ	三浦英恵	クリティカル期にある人々とその家族の選択や尊厳について理解し、倫理的問題を解決するための援助方策について、事例検討を中心にディスカッションを通して学びを深め、新たな視点が得られたことが授業評価から伺えました。今後もみなさんの学びが深まるように助言の仕方やファシリテートなども工夫していきたいと思います。
M00603	慢性看護学特講Ⅲ	本庄 恵子	授業改善アンケートへのご協力をありがとうございました。授業をとおして学びを深められたことが伝わってきました。いただいたご意見は今後にかかしてまいります。
M00604	慢性看護学特講Ⅳ	本庄 恵子	授業改善アンケートへのご協力をありがとうございました。授業に主体的に取り組むことができ、学びを深められたことが伝わってきました。いただいたご意見は今後にかかしてまいります。
M00703	老年看護学特講Ⅲ	住谷ゆかり	アンケート結果より、講義内での活発なディスカッションをとおして各々の学びを深めることができているようでよかったです。皆さんの今後の看護実践に活かしてってください。また、講義方法に関していただいたご意見は、今後の講義の洗練につなげてまいります。授業改善アンケートにご協力いただきありがとうございました。
M00704	老年看護学特講Ⅳ	田中孝美	授業改善アンケートのご協力をありがとうございました。高齢者の医療保健福祉制度・政策の現状と課題、サポートシステムにおける他職種連携、看護専門職者として課題への対応について、本科目では学びました。各回の中で、皆さんがこれまでの経験を振り返り、仕組みについて自分事として考え、これから何か重要となるか、どんな活動をしていきたいか、積極的に議論してくださっていました。取扱う内容や教材について引き続き吟味し、プレゼンテーションに関していただいたご意見を今後の運営にかかしてまいります。

M00802	精神保健看護学特講Ⅱ	古城門 靖子	貴重なご意見ありがとうございました。シラバスと配布資料に齟齬が生じていたことに関しては、今後配布資料に誤りがないか、十分に確認し、配布するようにしたいと思います。授業内容やその目的に関して、受講生の皆さんに十分に意図が伝わっていなかったり、進め方が伝わっていない可能性があると考えました。今後は、受講生の皆さんに授業内容の意図が理解できるよう、口頭での説明のみならず、説明資料を充実させていくようにしたいと思います。
M00803	精神保健看護学特講Ⅲ	鷹野朋実	アンケートご協力ありがとうございました。 次年度より新カリキュラムとなり授業内容が大きく変更となりますが、皆様のご意見を反映していきたいと思います。
M00902	地域・在宅看護学特講Ⅱ	藤川あや	貴重なご意見をいただきありがとうございました。今後も院生の皆様の学びが深まる授業を心がけていきたいと思います。
M00903	地域・在宅看護学特講Ⅲ	吉川悦子	授業改善アンケート回答ありがとうございました。皆さんの関心度や積極性の高い授業内容であったことがアンケート結果から伝わってまいりました。引き続き、皆様にとって役立つ授業を展開できるよう必要な点は改善していきたいと思います。
M00904	地域・在宅看護学特講Ⅳ	井口 理	地域・在宅看護の質を求めながらも経営や効率の視点を手放さない、この点を考える機会となったのであれば幸いです。
M01003	看護教育学特講Ⅲ	西田 朋子	2024年度の本科目は、担当教員の長期研修のため集中講義となったことをお詫びします。それに伴いプレゼンの準備が大変だったり、事前に教員ともしっかりと相談したかったが難しかったという意見もありました。今年度からは通常の履修形態になりますので、改善していけるとと思います。また、理論を学習するという点で課題内容が抽象的に感じることもあったようです。この点については、何をどのように調べてまとめていくとよいか、よりわかりやすい提示をして参ります。ありがとうございました。
M01004	看護教育学特講Ⅳ	佐々木幾美	授業改善アンケートに回答くださり、ありがとうございます。 プレゼンテーションで深めた方が良いポイントが詳細に提示されていた、授業の回数が進むにつれて理解が進んだという意見があり、馴染みがない内容に対して大学院生の皆さんが努力して学んでくださったと考えました。事例検討については、時期を検討し、プレゼンテーションへのコメントの返し方を工夫していきたいと考えております。
M01005	看護教育学特講Ⅴ	佐々木幾美・西田 朋子	授業改善アンケートに回答くださり、ありがとうございます。 看護教員の現状や課題などについて学ぶことで、看護教育学実習の振り返りができたという意見をいただきました。次年度はプレゼンテーションに対するコメントの返し方を少し工夫していきたいと考えております。
M01006	看護教育学特講Ⅵ	佐々木幾美	授業改善アンケートに回答くださり、ありがとうございます。 この授業では、後半にカリキュラム作成をしています、カリキュラム開発が面白かったという意見をいただきました。 担当でない教員から意見をもらうことについては課題が大きいので、すぐには対応は難しいことをご了解ください。
M01101	看護管理学特講Ⅰ	安部	ご意見をいただきありがとうございます。「他の大学院生を刺激するような意見交換ができた」の点数が低めなので、学生さん一人一人が積極的に討議に参加できるよう、工夫していきたいと考えます。

M01102	看護管理学特講Ⅱ	小川圭子	授業改善アンケートへのご協力をありがとうございました。経営の視点から看護管理を学ぶ機会になって良かったと思いました。また、財務諸表について、さらに具体的なアセスメントの仕方をもっと学びたいという意欲は素晴らしいと思いました。財務諸表に載る数値は、その施設の一側面であり、組織の実践と他のデータとの関連とともにアセスメントする必要があります。次年度はそのような点もディスカッションできるように検討したいと思います。
M01106	病院管理論	小川圭子	授業改善アンケートへのご協力をありがとうございました。看護以外の視点から病院管理を学び、広い視野で看護管理をする機会ができたと思います。ディカションや課題の提示方法、授業全体の進行などをさらに改善できるように検討いたします。
M01216	災害看護学特講Ⅱ	内木美恵	授業改善アンケートへのご協力をありがとうございました。自ら災害時の倫理について学びを深めたいと考え取り組んでくださいました。授業について、実際のシミュレーションを机上で行えてよかった、倫理や実践に役立つことが学べたとの意見があり、良い学びができたのではないかと思います。ご意見を今後の授業に活かしていきます。
M01218	災害看護学特講Ⅳ	内木美恵	授業改善アンケートへのご協力をありがとうございました。災害に関する法律や制度について学びを深めたいと考え取り組んでくださいました。授業では、実際の判例を学べたことは良かった、看護以外の講義で様々な視点から学べてよかったとの意見があり、良い学びができたのではないかと思います。ご意見を今後の授業に活かしていきます。
M01313	英語講読Ⅰ	川崎修一	過分な評価をありがとうございました いただいたコメントは授業改善に活かします
M01314	英語講読Ⅱ	川崎修一	過分な評価をありがとうございました いただいたコメントは授業改善に活かします
M01324	教育学特講	渋谷真樹	教育学の重要概念を学んだこと、難解な文献をクラスで議論できたこと、学習者間および学習者－教員間の対話があったことなどに肯定的な意見をいただき、嬉しいです。一方、課題が多すぎる、教員自身の解釈を知りたい、ハイブリッド授業でオンライン参加者に聞こえずらい場合があった、などの課題がありました。さっそく参考にして、改善に努めていきます。
M01328	看護理論	川原由佳里	看護理論の抄読、解説を通じて理解を深めるとともに、事例を通じてあらためて看護とは何かを理解する機会になりました。zoomの設定がうまくできず、接続にご不便をおかけした点が、反省点です。
M01329	看護研究	佐々木幾美・本庄恵子・江本リナ	授業改善アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。グループワークやディスカッションを通してより深く学ぶことができたこと、さまざまな研究方法を知ることができたことなどのコメントをいただきました。これらは次年度も継続していきます。ご意見をいただいた点については、次年度に向けて検討していきたいと考えております。
M01330	コンサルテーション論	古城門 靖子	貴重なご意見をありがとうございました。最終レポートの提示に関しまして、提出までに1か月は期間を設けていましたが、今後は授業の初回か前半の時期には提示するようにしたいと思います。多くの学びを得られたのご意見を多数いただきました。今後も可能な限り現場で活躍されているCNSの方々の講義や必要な理論について学ぶ機会を確保していきたいと考えます。

M01331	看護倫理	吉田みつ子	受講者の皆さんのご協力で、活発な議論ができたと思います。ロールプレイの進め方については、時間が足りなかったというご意見がありました。次年度に生かしていきたいと思います。「リモート授業のために、対面の学生が環境を準備するのはおかしいと思った」というご意見がありました。対面、リモート出席の両方の学生さんに過度な負担がかからないよう、他の科目の場合とも調整して環境を整えていきたいと思います。
M01332	看護政策論	安部	ご意見いただきありがとうございます。グループ編成に関しては例年ご意見があります。基本的に他領域の学生さんと意見交換ができるようにしています。
N00102	ウィメンズ・ヘルス・プロモーション研究論	齋藤英子	アンケートへのご回答ありがとうございます。いただいたご意見を次年度の展開に活かしていきたいと思います。
N00103	ウィメンズ・ヘルス・プロモーション活動論	齋藤英子	嬉しいコメントをありがとうございます。この科目で狙っていた通り、グループ・学生同士で、議論を重ねながら着実に理解を深められていたと思います。みなさんの努力のたまものです。これからも、ここで得られたことを活かしていけることを願います。
N00202	国際保健助産論Ⅱ	笹川 恵美	国際保健分野で特に助産やリプロダクティブヘルスに関連した最新の動向や情報をアップデートしながら、学生の指導に当たっていききたいと思います。
N00203	国際保健助産論Ⅲ	稲田千晴	学びが多かった、ディベートでの学びが大きかったというコメントをいただき、皆さんが充実した学修ができたことはとても嬉しく思います。社会情勢の変化によって脅かされやすい乳幼児栄養について深く学んでいただいたことが、この先の臨床での礎になることを祈っています。皆さんの積極的な参加が授業全体を盛り上げてくださったことも有意義な時間につながったと考えています。
N00305	看護理論	川原由佳里	看護理論の抄読、解説を通じて理解を深めるとともに、事例を通じてあらためて看護とは何かを理解する機会になりました。zoomの設定がうまくできず、接続にご不便をおかけした点が、反省点です。
N00306	看護政策論	安部	好意的な評価をいただきありがとうございます。M01332と同じ科目なのですが、受講する学生さんの背景によって感じ方が異なる可能性があることがわかりました。その点に配慮していきたいと考えます。
N00307	コンサルテーション論	古城門 靖子	貴重なご意見をありがとうございました。多くの学びを得られたとのご意見をいただきました。今後も可能な限り現場で活躍されているCNSの方々の講義や必要な理論について学ぶ機会を確保していきたいと考えます。
N00401	基礎助産学特講Ⅰ	齋藤英子	素敵なコメントありがとうございます。助産について理解を深める・自分の目標を考えられる機会となっており何よりでした。
N00404	基礎助産学特講Ⅱ-2	小林丈人	授業改善アンケートの回答ありがとうございました。リモートと限られた時間の中で講義をさせていただいているため、生徒の皆さんとのコミュニケーションがとりずらくご迷惑おかけしています。生徒さんからアクションペーパーを提出していただくことで、授業の理解度を確認させていただき、また疑問に対する回答の共有でさらに理解を深めていただけたと思っております。この領域においても、日々情報がアップデートされており、情報追加のためレジメが多くなっておりますが、今後もわかりやすく、実践でも利用できる内容を中心にレジメの作成を行っていききたい思います。

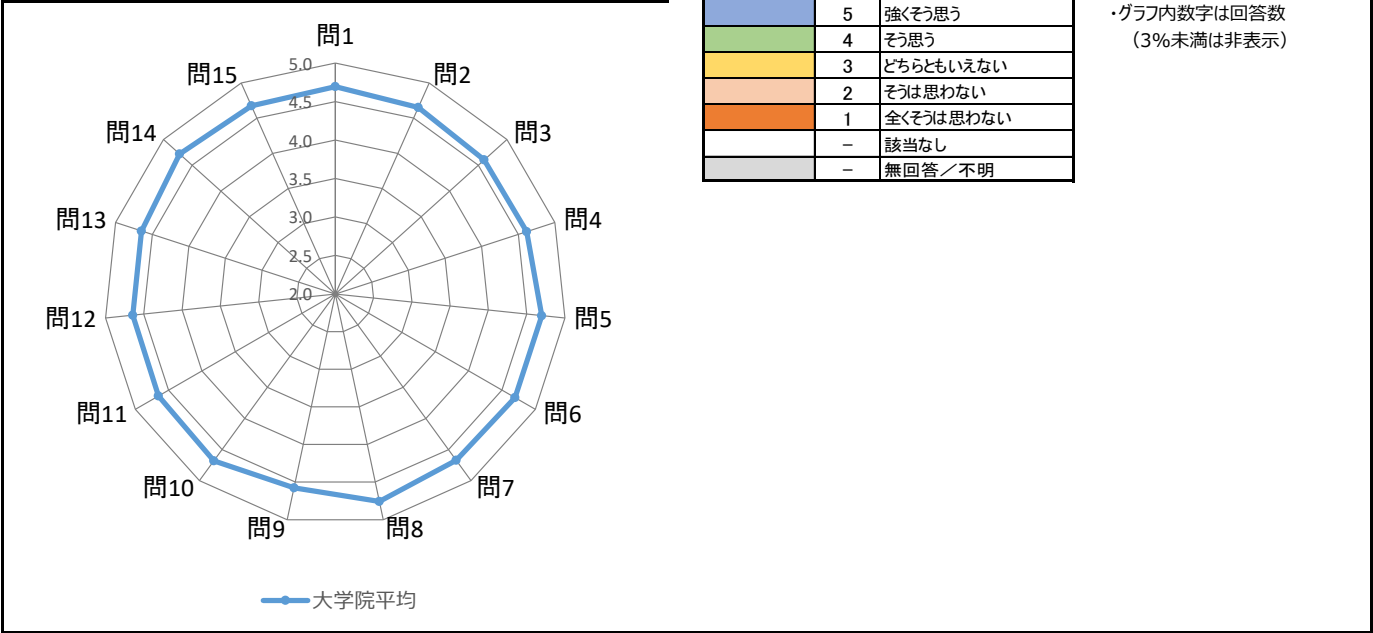
N00464	地域母子保健Ⅱ	齋藤英子	貴重なコメントありがとうございます。フィールドワークについては、オリエンテーションでは、特に場所の設定はないので都内や近場で良いことを伝えています。これまでは都内や近場で展開していたグループもたくさんありました。そのメッセージがキャッチしづらかったようですので、こちらからシラバス等を通してお伝えしていく方法を再考していきます。建設的なご提案ありがとうございます。
N00465	助産管理	東 園子	授業評価をありがとうございます。皆さんが、この授業を通して助産管理に理解を深め、さらに興味をもって深く学ぶ機会になったことを嬉しく思います。また、皆さんの素晴らしいプレゼンテーションと活発な意見交換により、より学びが深まったように思います。この授業が今後の臨床現場においても活かされることを願っています。

大学院		履修者数	108	回答率	
		紙	76	70%	70%
		WEB	0	0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	大学院平均	
1	演習で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	5321							4.69
2	演習で使用した物品・モデル等は適切だった。	511744							4.65
3	教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。	48223							4.60
4	技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。	511743							4.62
5	演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感ずることができた。	5519							4.70
6	実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。	52184							4.69
7	学生への指示・安全への配慮は適切だった。	531643							4.67
8	演習時の（グループ等の）人数は適切だった。	5716							4.76
9	演習の時間配分は適切だった。	501833							4.58
10	教員の熱意が伝わってきた。	56153							4.68
11	教員（ティーチングアシスタント含む）は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	5319							4.65
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	54183							4.64
13	私は事前学習をして演習に臨んだ。	52213							4.64
14	私は授業後に演習内容を復習した（オフィスアワーを含む）。	5519							4.72
15	私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行なえるようになった。	50194							4.68
問1～15全問平均								4.67	

■両学部平均



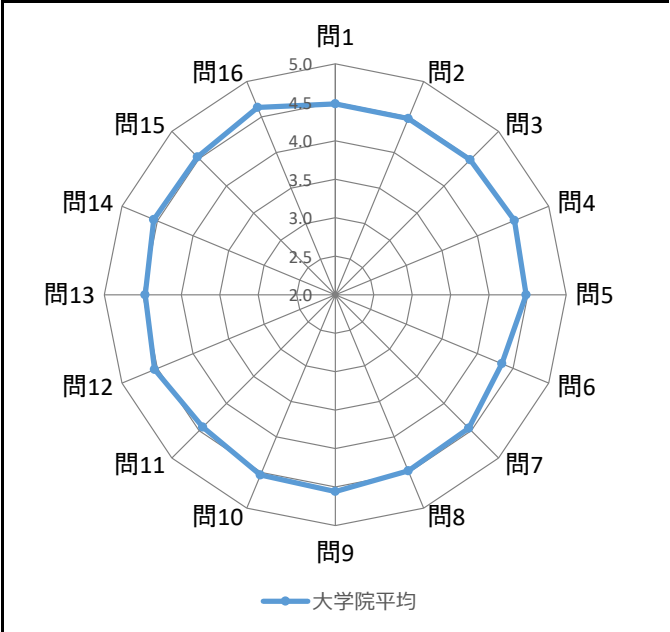
科目コード	科目名	教員名	コメント（1000文字以内）
M00553	クリティカルケア看護学演習Ⅲ	三浦英恵	クリティカル領域における専門看護師の役割や専門的な看護ケアについて、急性・重症患者看護専門看護師からの講義・討議を通して、学びが深められたことと思います。今後も、CNSからの講義・討議の機会を取り入れた演習展開をしていきたいと思います。
N00151	ウィメンズ・ヘルス・プロモーション演習Ⅰ	新田真弓	ご意見ありがとうございます。学生数が少なかったのですが2年生との合同ゼミも取り入れることで、意見交換もできたようでよかったです。研究計画を順調に進めていけるよう学習環境を整えていきます。
N00152	ウィメンズ・ヘルス・プロモーション演習Ⅱ	新田真弓	ご意見ありがとうございます。研究計画を丁寧に実施できているようでよかったです。1年生との合同ゼミも行い、意見交換をしながら進めていければと思います。今後も学習環境を整えていきたいと思います。
N00252	国際保健助産学演習Ⅱ	笹川恵美	ご意見ありがとうございます。カンボジアでの学びを統合し、報告書としてまとめ上げる中で、再度カンボジアについて学ぶプロセスとなったようです。学生の成長を感じました。
N00271	リプロダクティブ・ヘルスケア演習Ⅰ	齋藤英子	概ね、良い評価をありがとうございます。前期は研究の基礎となるものをグループで学び、後期はゼミ毎にそれぞれの研究課題を進めていきました。教員が何かする時間よりもご自身たちで学び進め、教員は相談役であったので、評価項目としてやや評価しづらかったかと思います。それぞれがゼミでの議論を経てテーマを見いだせていたので、お疲れ様でした。
N00272	リプロダクティブ・ヘルスケア演習Ⅱ	齋藤英子	それぞれのゼミで、協力し合いながら最後まであきらめずに頑張っていたと思います。お疲れ様でした。
N00451	実践助産学演習Ⅰ	齋藤英子	ありがたいコメントありがとうございます。皆さんの熱意も両親学級参加者の皆様に届いており、教員としてはそれがとても嬉しかったです。お疲れ様でした。
N00452	実践助産学演習Ⅱ	齋藤英子	色々なコメントをありがとうございます。学生の皆さんが主体的に学び考えたことで得られた成果だと思います。事例の問題に関する時間やグループ再編成については、今後の検討課題としていきたいと思います。ご意見感謝します。
N00453	実践助産学演習Ⅲ	齋藤英子	実践直前レベル迄、ご自身の技術の取得を高めなければならず、なかなか大変な科目だったと思います。みなさんそれぞれが個々に鍛錬を重ねた結果、基本技術の習得に至り良かったです。概ね、良い評価をありがとうございます。実施する技術の組み合わせや順番については、次年度の改善課題としていきたいと思います。
N00454	実践助産学演習Ⅳ	加藤千穂	臨床推論と演習をセットで実施したことで、学びが深まったとのコメントをいただきありがとうございます。今後もより実践的な演習になるように努めます。
N00455	実践助産学演習Ⅴ	齋藤英子	コメントありがとうございます。事例検討やケアについて、みなさんが主体的に学ぼうとしたが故かと思います。様々なグループワークやプレゼンテーション、お疲れ様でした。

大学院		履修者数		回答率	
		回答数	紙	76%	76%
			WEB	0%	
			127		
			96		
			0		

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	大学院平均
1	教員は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	57		29		9		4.48
2	教員は、学生の大学での学びを理解して助言していた。	57		29		9		4.48
3	教員の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	58		28		8		4.48
4	教員は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。	58		32		4		4.52
5	教員は、相談しやすい雰囲気があった。	56		33		4	3	4.48
6	教員と実習指導の連携が取れていた。	51		32		8	5	4.34
7	実習指導者は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	54		33		5	3	4.45
8	実習指導者は、受け持ち患者の状況を的確にとらえ助言していた。	54		32		7		4.48
9	実習指導者の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	58		32		5		4.56
10	実習指導者は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。	58		30		7		4.54
11	実習指導者は、相談しやすい雰囲気があった。	54		31		8		4.43
12	学生は、主体的・積極的に実習に取り組んだ。	57		34		5		4.54
13	学生は、グループメンバー同士で学びを深めることができた。	54		33		9		4.47
14	学生は、実習目標に到達できるよう努力した。	57		35		4		4.55
15	学生は、自ら指導・支援を求めることができた。	59		29		8		4.53
16	学生は、体調管理に努めた。	65		27		4		4.64
問1～16全問平均								4.50

■両学部平均



グラフ凡例	配点	問1～16
	5	強く思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	該当なし
	-	無回答／不明

＜質問別回答内訳＞

・グラフ内数字は回答数
(3%未満は非表示)

科目コード	科目名	教員名	コメント（1000文字以内）
N00161	ウィメンズ・ヘルス・プロモーション実習Ⅰ	新田真弓	ご意見ありがとうございます。[br]仕事と並行して実習を行うことは大変であったと思いますが、研究課題に関連した良い実習計画を立案でき、実施につながったと思います。引き続き充実した実習となるようにしたいと思います。
N00162	ウィメンズ・ヘルス・プロモーション実習Ⅱ	新田真弓	ご意見ありがとうございます。研究実施を丁寧に進め、順調に進行で来ているようでした。研究環境が良いものになるよう、さらに支援していきたいと思います。
N00261	国際保健助産学実習	笹川恵美	ご意見ありがとうございます。学生さんたちから、訪問する先々で意欲的に学ぼうとする姿勢がみられ、質疑応答も活発でした。前期を通してカンボジアについて学んできたからこそ、現地での理解が深まったかと思います。次年度は、フィールド訪問できるよう計画していきたいと思います。
N00281	リプロダクティブ・ヘルスケア実習Ⅰ	齋藤英子	概ね良い評価をありがとうございます。フィールドワーク等の経験を通して、実践現場から学ぶを深め、考察することで、それぞれが研究課題を深められていたが故かと思います。
N00282	リプロダクティブ・ヘルスケア実習Ⅱ	齋藤英子	建設的なコメントありがとうございます。口頭でも教えていただいていたので、他のゼミの人たちとも意見交換できるよう、今年から早速全体ゼミを導入していくことにしました。
N00471	助産学実習Ⅰ	齋藤 英子	忌憚なきご意見、ありがとうございます。実習後に伺った実習後アンケートでも同様のご意見をいただきましたので、既に施設側とも協議しながら、今年度の実習に向けて改善策を練り実施しています。色々な教員が関わってくれて良かったというご意見もありがとうございます。皆さんの実習経験が豊かなものになるように、複数名の教員によるチーム指導・支援体制は続けていきたいと思います。
N00472	助産学実習Ⅱ	齋藤 英子	これまで関わっていなかった先生との関係構築に関して、建設的なご意見をありがとうございます。実習中にも直接同様の声が寄せられていたので、今年度、夏の実習前の助産演習から、冬の助産実習指導に入る教員が演習や実習前OSCEを通して皆さんと関われるように工夫をしていきます。
N00473	助産学実習Ⅲ	加藤千穂	授業改善アンケートへの回答をありがとうございました。これからも学生の皆さんが開業助産師さんから多くのことを学べるよう、実習環境を整えていきます。
N00474	助産学実習Ⅳ	齋藤英子	アンケートのご回答ありがとうございます。多くの実習協力施設のみなさまのご協力を得て、貴重な学びを得られたことを共有しました。いただいたご意見をふまえて、今後も改善・調整していきたいと思います。
N00475	助産学実習Ⅴ	新田真弓	施設でのハイリスク新生児のケアの方針を目の当たりにして、悲しい気持ちを抱えながら実習を続けていた様子がわかりました。大切な気付きをありがとうございます。皆で対象者に良いケアを提供できるように、皆さんの考えなども指導者さんにうまく伝わるように教員もサポートに努めていきます。
N00476	助産学実習Ⅵ	齋藤 英子	高評価とご意見ありがとうございます。様々な課題をこなしながらの継続実習は時間管理など大変だったと思います。プライマリーとしてのお勤め、本当にお疲れ様でした。継続ケースの方へ助産学生として関わりたいという皆さんの思いと、それを支えた指導者や教員の丁寧な関わりによる賜物であることがご意見を通して改めてわかりました。妊娠期から育児期までの継続的な助産実践を経験できる貴重な実習になっていますので、今後もご意見を反映させつつ、いい形で続けていきたいと思います。